

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
山梨の縄文文化		第3章②(1) P. 38, 39	
教科(領域)等	社会科	学年(分野)	1学年歴史的分野

1. 教材のねらいと概要

山梨県出土の特徴的な土器・土偶の写真や、県内の主な縄文遺跡の地図で位置を掲載している。現在世界的にも注目されている縄文文化が、山梨の地で大きく花開いた事実を伝えるとともに、なぜ縄文文化は衰退したのか、また文字のない時代の人々の暮らしをいかにして推測していくのか、歴史を自分の課題として捉え、自由な発想とともに考えていく一助にしてほしい。歴史学習の導入期に、資料から考え、またグループワークなどで議論する素材として活用してほしい。

2. 活用例

教科名等	社会科歴史的分野	単元(題材)名等	日本のあけぼの
活用場面		活用のポイント	
歴史学習の導入期であるこの時期に、縄文時代の世界をより身近ものとして捉える。		<ul style="list-style-type: none"> ○分布図から、縄文人がどのような生活をしていただのか推測する。 ○山梨から出土している土偶や土器の芸術性について関心を持たせよう。 ○キャラクターの投げかけに対して、資料を基に考察する。 	20～50分 (家庭学習を含む)

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P. 38 	でも、こんなに栄えていた縄文世界が、少しずつ衰退していったのはなぜだろう。遺跡の数も減っていったようだけど、どうしてだろうか。	栄えていた縄文文化が、後期以降衰退していったのはなぜか、気候変動や新しい文化を持った人々との接触などによる伝染病の感染など、自然と人口移動などについて考えさせる。	小氷河期(気候変動)により、食料が減少した。稲作が始まったことや弥生人との接触により、耐性のない伝染性の病気に感染したことも考えられる。
P. 39 	上の一列に並んだ穴と「つば」はいったい何のために付いているのだろうか。それに、横についている宇宙人のような模様はいったい何を表しているのだろうか。	縄文人の生活や、世界観について自由な発想を大切に、より歴史に親しみを持たせる。	最も有力な説は、原始の酒造道具、発酵用の甕。穴はガス抜きと考えられている。他に太鼓として使ったなどの説もあったが、穴に糸を通した跡が無いなどの指摘を受けている。
P. 39 	何のためにこんな複雑な模様の土器をつくったのかな。	縄文が、「滑り止め」「補強」などの実用性を離れ、縄文人にもすでに芸術的な感覚と、それを土器という形で具現化することができていたという点に気付かせる。	すでに縄文文化の段階から、単なる「道具」ではなく「芸術」や「工芸」の域の土器を作ること、また作るようになっていたことが理解できる。

4. 写真・資料の補説

(1) 土偶

土偶: 釈迦堂遺跡出土の土偶は、約1000個体ほど確認されているが、そのほとんどが破損しており、意図的な破損も見られる。また、大英博物館には、鋳物師屋遺跡出土の土偶とともに、この遺跡からも7点が出品され、世界的な評価を受けている。

(2) 遺跡地図

縄文遺跡が盆地周辺部、桂川・富士川沿いの山麓に集中していることを確認し、縄文人の生活の様子について考えさせたい。

5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・編者	発行年
縄文の女神	県立考古博物館	県立考古博物館	2004
人口から見る歴史学	講談社学術文庫	鬼頭 宏	2000
古代望見	県立考古博物館	県立考古博物館	2016
関連施設名	住所	電話	
山梨県立博物館	笛吹市御坂町成田1501-1	055(261)2631	
山梨県立考古博物館	甲府市下曾根923	055(266)3881	
釈迦堂遺跡博物館	笛吹市一宮町千米寺764	0553(47)3333	

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
甲斐源氏の盛衰		第3章(2) P. 40, 41	
教科(領域)等	社会科	学年(分野)	1学年歴史的分野

1. 教材のねらいと概要

中世の山梨の歴史で語るべきは、武田信玄だけでない。郷土には平安時代末期から鎌倉時代にかけて全国的に活躍した武士団、甲斐源氏たちがいた。後の日本史にも多大な足跡を残した彼らの活躍を知ることが、同時に自分の住む地域の歴史や遺物が、日本史の一コマであることを理解することにつながる。この章で、郷土の先人たちの足跡に目を向け、郷土を愛する心を育てていくとともに、地域の歴史が教科書に登場する全国の歴史と密接に結びついていることを知るきっかけとしてほしい。県内めぐりの基礎的な学習や、日常の授業に活用できるような資料を掲載している。歴史学習とともに、郷土学習の入り口として活用して欲しい。なお、武田信玄についての記載は、旧版ふるさと山梨に多く掲載されているため、ここでは極力割愛した。あわせて活用していただきたい。

2. 活用例

教科名等	社会科歴史的分野	単元(題材)名等	武家の成立と封建制度
活用場面		活用のポイント	
平氏滅亡から、鎌倉時代成立にかけての、義仲・義経などの話題を提示するとき。		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の地名・字(あざ)などに、甲斐源氏や中世の関連史跡を結び付ける。 ・郡内地域には甲斐源氏関連の史跡は少ないが、寺社などとの関連資料(「勝山記」など)や、武田氏家臣団などとの関わりから、地域史を掘り起こすきっかけとする。 ・キャラクターの投げかけに対して、資料を基に考察する。 	時間 20~50分 (家庭学習を含む)

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P. 40	私たちの住むまちにも関連する史跡や地名があるのかな。	生徒が地域に目を向け、教科書の歴史と地域の歴史がつながっていることを実感させる。	各自の地域の史跡・寺社・地名などを記入。(ワークシート参照)
P. 41	信玄の頃には、県内各地に武田家を支える武士団が誕生しました。地域にはどんな歴史があるでしょうか。	甲斐源氏関連の史跡・地名だけでなく、武田領国の拡大や、地域の歴史が武田氏にどう関わっているのかを気付かせる。	(p. 40の地図や旧版p. 30の武田氏の最大版図の図をもとに)地域の武士や歴史、祭りや伝承などを出し合う。

4. 写真・資料の補説

(1) 家紋

小笠原氏・加賀美氏は、一族であるため同じ三階菱を使用している。

(2) 甲斐源氏関係地区

甲斐源氏は、守護に任じられるなどして、広島・大分などにも足跡を残している。安芸守護として広島に入った安芸武田氏の系統から、武田信玄が登場することになる。また、源平合戦の初期の戦いとして有名な「富士川の戦い」でも甲斐源氏の活躍が見える。

5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・編者	発行年
南アルプスの甲斐源氏	少國民社	南アルプス市教育委員会	2014
山梨県史 通史編 原始・古代	サンニチ印刷	山梨県教育委員会	2004
山梨県史 通史編 中世	サンニチ印刷	山梨県教育委員会	2007
山梨県史 概説編 山梨県のあゆみ	サンニチ印刷	山梨県教育委員会	2008
関連施設名	住所	電話	
山梨県立博物館	笛吹市御坂町成田1501-1	055-261-2632	
恵林寺宝物館	山梨県甲州市塩山小屋敷2280	0553-33-3011	
高橋山 放光寺	甲州市塩山藤木2438	0553-32-3340	
加賀美山 法善護国寺	南アルプス市加賀美3509	055-282-1693	

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
近代の山梨		第3章(3) P. 42, 43	
教科(領域)等	社会科	学年(分野)	2年生歴史的分野

1. 教材のねらいと概要

若尾逸平を中心とした甲州財閥を調べることにより、近代日本の歴史を大観させ、その特色を説明できるようにする。また、甲州財閥や山梨県出身者に関連の深い企業や施設、史跡を調べることにより、山梨県という郷土への理解や誇りを深めさせたい。

甲州財閥の切り口として、若尾逸平へのインタビュー形式で甲州財閥の概略、甲州財閥の活躍した時代と特色を示すために、略年表と写真資料を掲載している。また、関連の深い企業などを調べる手がかりとしての資料、人物を掲載している。

2. 活用例

教科名等	社会科	単元(題材)名等	近代の日本と世界
活用場面		活用のポイント	
歴史的分野の「近代の日本と世界」の学習のまとめとして、甲州財閥を通して近代日本の時代	単純に甲州財閥を調べるのではなく、甲州財閥の活躍の様子を調べ、近代の日本のできごと(中央の歴史)と照らし合わせながら時代の特色をまとめていく。また、甲州財閥や山梨県出身者に関連のある企業・施設・史跡を調べ、郷		50~100分(家庭学習も可)

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P. 42 	この言葉は、誰が言ったのかな。	甲州財閥に対する興味や疑問を持たせ、調べるきっかけとしている。	P. 42の若尾逸平の吹き出し中にある言葉から若尾逸平が根津嘉一郎に対して述べた言葉である。
P. 43 	甲州財閥の人たちは、みんな若尾さんのように豪快な人たちなのかな。「山梨近代人物館」で調べてみたいな。	甲州財閥の人たちがどのような活躍をし、なぜ活躍できたのか、生き様も知る中で調べを深め考えさせたい。	略
P. 43 	甲州財閥の活躍していた時代は、どのような時代だったのかな。	甲州財閥の活躍を通して、日本の近代の移り変わりをつかみ時代の特色をまとめさせる。	略
P. 43 	山梨県にゆかりの深い企業は、他にもあるのかな。	若尾・雨宮・根津系の企業から今も残る企業を知ること、山梨県にゆかりのある企業に関心を持たせ学習のまとめにつなげたい。	略
P. 43 	○甲州財閥や山梨県出身者の人たちに関連のある現在の企業・施設・史跡を調べてみましょう。	近代の山梨の学習のまとめ。甲州財閥の活躍を通して近代の時代の特色をまとめ、郷土への誇りや理解を深めていくことにつなげたい。	東京地下鉄(早川徳次)・富士急行(堀内良平)・宝塚歌劇団、東宝(小林一三)・松屋百貨店(古屋徳兵衛)・芦川発電所・駒橋発電所など。

4. 写真・資料の補説

(1)近代の日本の経済に影響を与えた甲州財閥

甲州財閥とは、明治から昭和にかけて活動した山梨県出身の実業家たちの総称。その中心的な人物として写真の若尾逸平・雨宮敬次郎・根津嘉一郎たちがあげられる。

(2)甲州財閥の活躍した時代

4枚の画像は、甲州財閥が主に活躍した時代(幕末~大正)の特徴を表したものである。略年表と関連させ近代の時代の特色をまとめていくうえで参考にさせたい。

5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・編者	発行年
甲州財閥物語	山梨新報社	斎藤芳弘	2000
鉄道王雨宮敬次郎と根性一代	東洋出版	小林和生	2010
天下の雨敬、明治を拓く	河出書房新社	江宮隆之	2012
関連施設名	住所	電話	
山梨県立博物館	山梨県笛吹市御坂町成田1501-1	055-261-2631	
山梨中銀金融資料館	甲府市中央二丁目11番12号	055-223-3090	
山梨近代人物館	山梨県甲府市丸の内1丁目6番1号	055-231-0988	
参考ホームページ			
山梨中銀金融資料館 → テーマ展示(甲州財閥)			

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
戦争から平和へ		第3章(4) P. 44, 45	
教科(領域)等	社会科	学年(分野)	2年生歴史的分野・3年生公民的分野

1. 教材のねらいと概要

<p>山梨県の主な戦争遺跡について、分布図を参考にどのような目的でつくられたのか調べることにより、平和への関心を持たせる。また、紛争などの原因や現状を調べながら国際社会の課題と平和への取組についての理解を深め、山本美香さんの活動やメッセージを通して平和の尊さについて考えさせたい。</p> <p>山梨県の主な戦争遺跡を地域ごとに表にまとめ、市町村名入りの地図中に●で分布を表している。また、平和の尊さなどについて考えさせるための資料として、山梨県出身のジャーナリストである山本美香さんの講演時の質疑応答や、講演後に届けられた生徒向のメッセージを掲載している。</p>

2. 活用例

教科名等	社会科	単元(題材)名等	二度の世界大戦と日本・私たちと政治・私たちと国際社会の諸課題
活用場面		活用のポイント	
<p>歴史的分野「二度の世界大戦と日本」、公民的分野の「私たちと政治」・「国際社会の諸課題」の学習で、平和の尊さについて学習する。</p>	<p>地図中に分布している戦争遺跡の名称を調べるだけではなく、なぜ山梨にどのような目的でつくられたのかも調べる中で、残された戦争遺跡から平和の尊さを知り今後戦争遺跡をどのように守り伝えていくべきか考えさせる。また、世界の紛争の現状を理解させるとともに、紛争の原因や平和のためにどのような取組があるのか追究していく。また、山本美香さんが紛争を取材し続けた意味と、平和を築いていくためには何が必要なのかを考えさせたい。</p>	時間	50～100分(家庭学習も可)

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P. 44 	地図中の●は、何だろう。戦争と何か関係があるのだろうか。	P. 44の学習課題となる投げかけ。	●は戦争遺跡の分布を示している。右下にある主な戦争遺跡も含まれている。
P. 44 	表中の戦争遺跡になっているものは、なぜ山梨に、どのような目的で作られたのかな。	なぜ山梨にどのような目的で戦争遺跡となっているものが作られたのかを調べ、戦争遺跡がもつ意味を理解させ平和の尊さに気付かせたい。	東京などの京浜地域に近いこともあり、具関連工場や施設が疎開してきたことが主な理由の一つ。
P. 44 	○表中の戦争遺跡や自分たちの住んでいる地域の戦争遺跡を調べ、地図にも示してみましょう。また、今後、その遺跡をどのように守り伝えていくべきか考えてみましょう。	P. 44の学習のまとめ。戦争遺跡がもつ意味を理解し、戦争遺跡をどのように守り伝えて行くべきか考えさせたい。	略
P. 45 	なぜ、人々は争うのかな。山本さんはなぜ紛争を取材し続けたのかな。	学習のまとめにつなげるために、自分たちで考えさせたい。また、山本さんが紛争地域を取材した意味について、資料から考えさせたい。	略
P. 45 	○世界中で起こっている紛争の原因について調べてみましょう。 ○平和のためにどのような取組が行われているのでしょうか。	紛争の原因を調べる中で、貧困や飢餓、民族や宗教の対立などが複雑になっていることに気付かせたい。また、国際社会で平和のための取組はどのようなことがあるのか調べ、平和のために何ができるのかを考えさせることにもつなげたい。	紛争は、貧困や飢餓、宗教や民族の対立が原因となっていることが多い。PKO活動、UNHCR、NGOなどの取組等。

4. 写真・資料の補説

(1)山梨の戦争遺跡
地図は、表中の主な戦争遺跡を含めた山梨県に残された戦争遺跡の大まかな分布図で●で示している。写真の万歳峠は石垣の右奥にも碑が建っている。
(2)平和な世界を
山本美香さんの経歴は略歴である。資料は、石和中での講演会の記録を抜粋したものである。

5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・编者	発行年
山梨県の戦争遺跡 山梨県戦争遺跡ネットワーク編	山梨日日新聞社	山梨県戦争遺跡ネットワーク	2001
「ぼくの村は戦場だった」	マガジンハウス	山本美香	2006
戦争を取材する一子どもたちは何を体験したのか	講談社	山本美香	2011
山本美香最終講義 戦場からの問い ザ・ミッション	早稲田大学出版部	山本美香	2013
参考ホームページ			
UNHCR(国連難民高等弁務官事務所) → UNHCRを知る 国際連合広報センター → 主な活動 → 平和維持活動			